

令和 7 年度空調設備更新工事__評価基準及び配点

評価項目		提案書に求める記載内容	評価のポイント	採点区分				
大項目	小項目							
1 更新内容 【3 5 点】	1－1 マルチエアコン更新 【1 5 点】	以下の内容を含めてヒートポンプ式マルチエアコンの更新内容を提案すること。 【別添資料①】 2（1）設備仕様について の項目も参照すること。 ・ガス式又は電気式かを明示し、また冷媒管、配線類の施工方針についても明示すること ・想定機器配置を系統図、平面図等を使用して明示すること ・屋内の冷媒管及び配線類を更新する際に生じる天井施工の範囲も明示すること ・ガス、電気の引込に係る付帯工事（例：電気トランス増設）があれば明示すること ・更新後の機器も従来の自動制御設備の制御範囲内に含まれるようにすること	・エネルギー種（ガス・電気）の選定に妥当性があり、合理的である ・更新機器が他設備の保守点検・修繕・更新に干渉しないよう配置されている ・付随する工程が網羅されており、更新計画全体の見通しが明確である ・システム制御の観点で運用後に支障が生じないものとなっている	3	6	9	12	15
	1－2 その他設備の更新 【1 0 点】	仕様書【別添資料①】 1 で掲げる項目のうち、マルチエアコンを除くものについて、以下の内容を含めて提案すること。 ・必要に応じて対象設備に付随する配管、バルブ等の更新提案も合わせて行うこと ・従来と同程度の能力確保を前提とするが、必要能力の低減が図れる場合は提案すること	・システム全体の最適化に寄与する提案となっている ・設備の長寿命化に寄与する提案となっている	2	4	6	8	10
	1－3 新規・独自提案 【1 0 点】	本業務の目的である空調設備更新に伴う省コスト化及び管理の平易化を鑑みて有益な提案があれば、更新内容及びそのメリットを提示すること。 【別添資料①】 2（2）積極的提案 の項目も参照すること。	・提案内容に更新想定以上の付加価値が期待される	2	4	6	8	10
2 業務計画 【3 5 点】	2－1 スケジュール 【1 0 点】	本業務で想定する全体工程表を以下の内容を含めて提示すること。 ・機器ごとの納入仕様の検討期間及び決定期限 ・入れ替えに伴い空調が使用不可となる期間（エリアごとの提示も可） ・重量機器搬入作業（クレーン作業）の実施期間	・工程管理に必要なポイントを押さえており、想定が具体的かつ妥当である ・事前調整が必要な事項について、調整猶予のあるスケジュールとなっている ・設備共用開始後の調整も考慮したスケジュールとなっている	2	4	6	8	10
	2－2 業務体制 【5 点】	空調設備の改修工事等、本業務に類する工事実績を明記すること。 配置技術者の所有資格、過去の業務経歴を明記すること。 また、本業務の遂行に係る役割分担を明記した業務体制を明示すること。	・類似の空調工事実績が豊富である。 ・配置する技術者の経験及び資格が充実している ・本業務に係る人員配置が充実している	1	2	3	4	5
	2－3 安全計画 【1 0 点】	安全かつ確実に工事を進めるために以下の内容を含めて提示すること。 ・工程進捗報告、課題共有のための体制の構築 ・施工エリアと施設使用エリアの区画分け、養生の考え方 ・その他想定される安全上のリスクと対策	・十分な情報共有と報告がされる体制を提案している ・工事エリア外の安全を考慮したものとなっている ・クレーン作業時の屋外エリアの安全確保についても提示されている ・提示しているリスクとその対策が現実的なものである	2	4	6	8	10
	2－4 施設運営への影響 【1 0 点】	施設運営への影響をあらかじめ提示し、生じる支障を低減できる対策を明示すること 例）【影響】入れ替えに伴い、マルチエアコンの使用できない期間が生じる 【対策】空調中間期に施工を集中させ、空調が不可欠なエリアには仮設空調を設ける	・本施設の業務内容への理解が見受けられる ・多くの観点から項目を挙げており、かつ的確な内容である ・提示している対策に実効性があり、かつ現実的である	2	4	6	8	10
3 運用計画 【2 0 点】	3－1 ライフサイクルコスト 【1 0 点】	本業務で設置するマルチエアコンについて、現行機器とエネルギー使用量の比較によって省エネ効果を示すとともに、設置コスト及び運用時のランニングコスト、想定使用年数を踏まえた想定ライフサイクルコストを提示すること	・必要なコストを網羅できており、試算に妥当性がある ・長期的なコストパフォーマンスに優れている	2	4	6	8	10
	3－2 保守管理 【1 0 点】	更新した設備が年数経過後も一定の能力を保持するために必要な点検、修繕を示すこと。 また、点検及び修繕の際に生じる施設運営への影響についても言及すること。 例）GHPエアコンのガスエンジン点検の際は当該系統の空調は使用不可となる	・更新後の設備運用について必要な知見が提示されている ・今回の提案が点検・修繕を考慮した設備更新となっている	2	4	6	8	10
4 提案価格 【1 0 点】	—	見積書を提出し、提案内容を全て履行する際の見積金額を提示すること。 工事費の内訳では更新する設備ごとに直接工事費の内訳がわかるように記載すること。	以下の計算により配点を決定する 1 0 点 ÷ {（当該候補者の金額）／（全候補者のうちの最低金額）}					

※候補者の提案に対して評価項目 1 ～ 3 の各項目を選定委員がそれぞれ採点し、その算術平均を取ったものを候補者の各項目の点数とする。

※前項で挙げた各項目の点数の合計に評価項目 4 の点数を加算したものを各候補者の合計点数とする。

※合計点数の最も高い候補者を第一の受託候補者として選定する。